資料３－７

世界標準。大崎町

～持続可能な町を目指して～

令和３年３月19日

大崎町長　東　　靖　弘

混ぜればゴミ、分ければ資源

２７品目分別

リサイクル率８３．１％

全国平均１９．９％　（平成３０年度実績）

12年連続日本　Ｎｏ．１

（平成１８年度～平成２９年度）

大崎リサイクルシステムのはじまり

焼却施設がない

↓

埋立処分場の残余年数の逼迫

↓

埋立処分場の延命化

３つの選択肢

１　焼却炉の建設
　　⇒建設費・維持費の問題

２　新たな埋立処分場の建設
　　⇒周辺住民の理解が得にくい

３　既存の埋立処分場の延命化
　　⇒分別ルールの策定・住民への説明

大崎リサイクルシステム

住　民
（大崎町衛生自治会）

回収

協働・連携
そして信頼

説明・指導

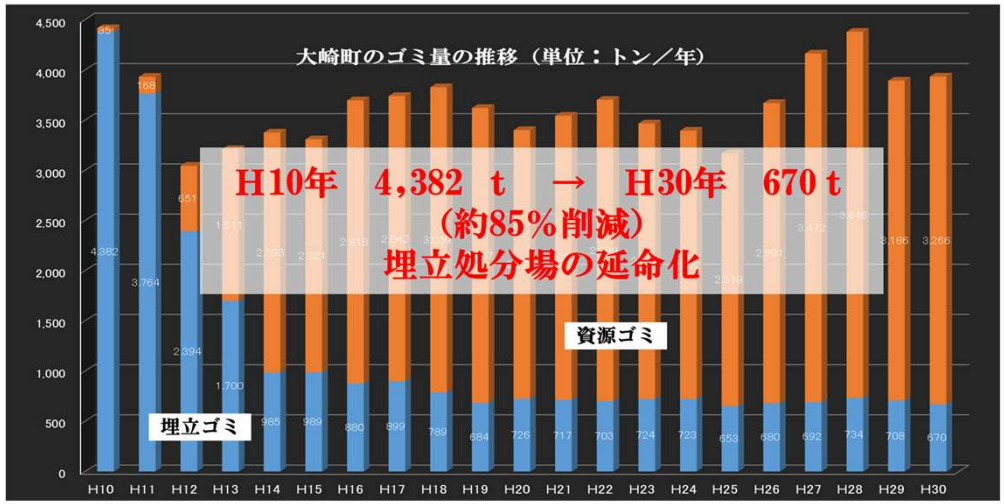
企　業
（リサイクルセンター）
（収集業者）

許可・委託

行　政
（大崎町）

大崎リサイクルシステムのメリット

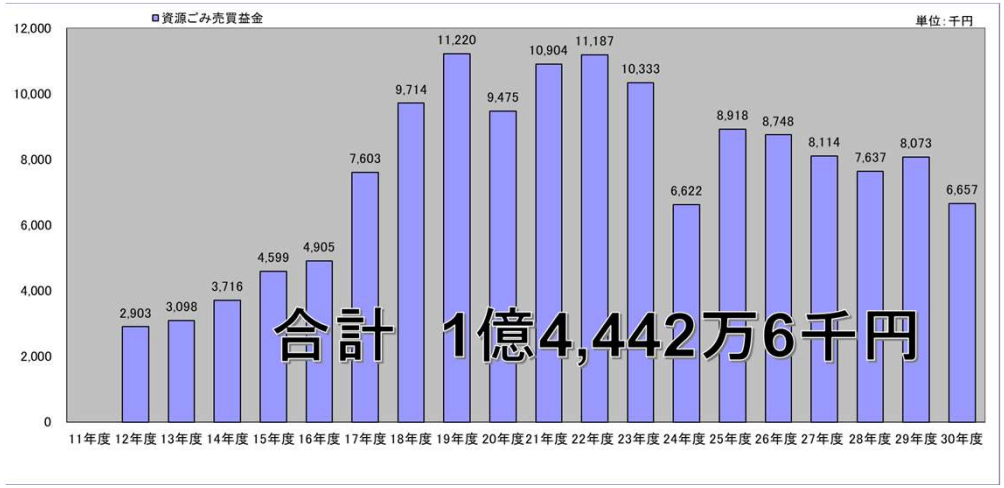
（埋立ゴミ量の削減）



（1人当たりのゴミ処理経費の削減）

項　　目	全国平均	大　崎　町		
	平成30年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
実態調査時人口	127, 438, 270人	13, 662人	13, 470人	13, 160人
1人1日当たりのごみ排出量	918g	899g	813g	842g
ごみのリサイクル率	19. 9%	83. 4%	82. 0%	83. 1%
1人当たりごみ処理事業経費	16, 400円	10, 400円	10, 500円	10, 500円

（資源ごみ売却益金の発生）

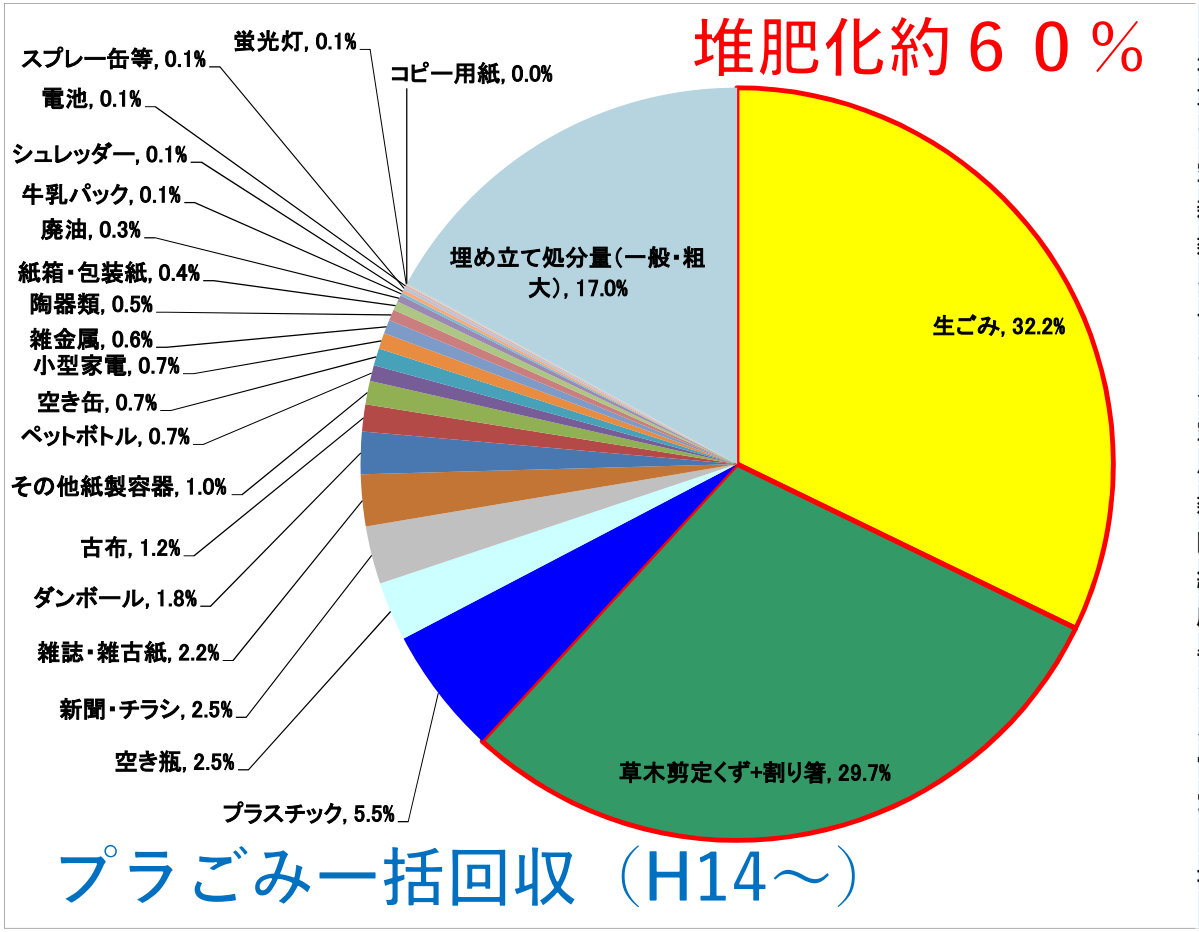


（雇用の増加）

大崎町にあるリサイクルセンターでは、近隣自治体も合わせて100,000人分の資源ゴミを取り扱っていて、40人程度の雇用が生まれています。

大崎町の品目別の組成割合

町内全ての生ごみ・草木をコンポスト！



品目	組成割合	重量（ｋｇ）
生ごみ	32.2%	1,266,780
草木剪定くず+割り箸	29.7%	1,166,964
プラスチック	5.5%	215,981
空き瓶(生き瓶・茶瓶・透明瓶・その他瓶)	2.5%	99,564
新聞・チラシ	2.5%	98,076
雑誌・雑古紙	2.2%	86,854
ダンボール	1.8%	71,785
古布	1.2%	45,713
その他紙製容器	1.0%	39,279
ペットボトル	0.7%	26,843
空き缶（アルミ・スチール）	0.7%	28,989
小型家電	0.7%	26,963
雑金属	0.6%	23,610
陶器類	0.5%	18,604
紙箱・包装紙	0.4%	15,329
廃油	0.3%	11,569
牛乳パック	0.1%	4,587
シュレッダー	0.1%	5,613
スプレー缶等	0.1%	5,212
電池	0.1%	3,927
蛍光灯	0.1%	2,187
コピー用紙	0.0%	1,322
埋立処分量（一般・粗大）	17.0%	669,591
合計	100.0%	3,935,342

大崎町からインドネシアへ

Japan offers cooperation on new recycling center

The Jakarta Post
JAKARTA

Jakarta governor meets with representatives from Osaki, Japan

Representatives pitch cooperation, assistance on new recycling plant

Five representatives from the Osaki town administration in Japan have pitched the idea of possible cooperation with the Jakarta administration in building and running a recycling center.

"We are here to inform, train and give an example as to how our waste-management system works," project manager Tokurei Katsuya told *The Jakarta Post* on Monday, after the closed-door meeting with Jakarta Governor Anies Baswedan and other city officials.

Osaki town in Kagoshima prefecture boasts an 85 percent recycling rate, the highest in Japan. In comparison, Jakarta's recycling rate is around 7 percent.

Jakarta still relies largely on Bantar Gebang landfill in Bekasi, West Java, which, at 110 hectares, is the largest landfill in Indonesia and receives between 6,000 and 7,000 tons of trash daily.

Tokurei explained that the Osaki system was suitable for Jakarta because it relies on neighborhood units, similar to Indonesia's community units (RW) and neighborhood units (RT), to sort trash into 27 categories — such as aluminum, plastic, paper and food waste — before it is handed over to waste management authorities.

To that end, the Osaki city administration is also ready to provide material and technical support to build the Jakarta recycling center, and train waste-management authorities to familiarize communities with this new system.

If approved, Tokurei and his team would oversee the operation of the center for three years in the hope that, by the end of the guidance period, Jakarta, and other Indonesian cities, will adopt the system.

Tokurei added that the Osaki system also adopted a holistic approach to waste management, which still uses incinerators and landfills in proportion to the amount of nonrecyclable trash.

"In my experience, the trickiest part of waste management is deciding exactly how much trash should be incinerated, thrown in a landfill or recycled. It is important to not let any recyclable material end up in the incinerator or landfill," said Tokurei.

He added that, because of their reliance on community participation and reduced incinerator and landfill usage, their system was much more low-cost compared to other Japanese cities.

Jakarta Environment Agency head Isnawa Adji, who attended the closed-door meeting, expressed approval of the Osaki team's ideas.

"They can help the environment agency tackle waste in the city because they are experienced in implementing reducing, reusing and recycling in Japan," he told the *Post* on Monday.

The approval is necessary as, after the team secures support from Governor Anies, the team will also have to establish a memorandum of understanding with the agency to implement the plan. Should both the governor and agency approve, the governor will sign a contract, and they can begin construction of the recycling center.

Trisakti University urbanist Nirwono Joga concurred with the idea of a community-led waste-management system. He stressed that it was critical for communities, from the smallest RT and RW units, to reduce waste production and to sort waste before handing it over to waste-management authorities.

"And authorities must support communities by enforcing the law on, for example, littering, reducing plastic consumption and raising awareness about proper waste disposal," he told the *Post*.

Indonesia has made several attempts to crack down on the waste problem with little success. In 2008, for example, the Environment and Forestry Ministry issued Regulation No. 2 on the utilization of toxic and dangerous waste. The regulation sought to introduce the public to the concept of 3R — reuse, reduce and recycle but, unfortunately, it did not catch on. (nor)

LAND DISPUTE

大崎の掲げる構想

サーキュラービレッジ構想

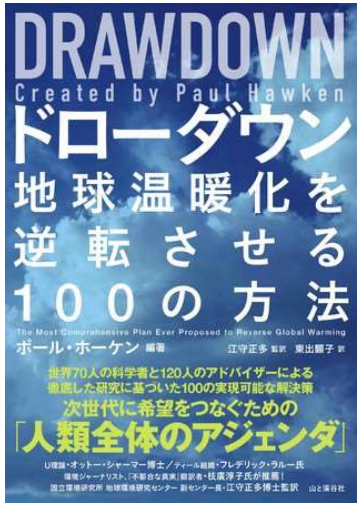
リサイクルの町から、
世界の未来をつくる町へ

2024年までを第一期としておよそ10億円をかけて、資源循環型のモデル都市（サーキュラービレッジ）整備事業を実施

その予算として企業版ふるさと納税を活用

企業には大崎町で実施する実証実験に、積極的に人材派遣を要請し、企業と地域が一体となって社会課題解決に向けて挑戦

DRAWDOWN×大崎町プロジェクト



大崎からのお願い

●脱炭素を進めるためには、人々の行動変容がもっとも重要であります。

焼却に頼らずごみを分別し資源化するといった、ソーシャルインパクトの大きな取り組みをしている自治体に対して、財政面でのインセンティブを与えることで他の自治体の行動変容を促す仕組みは講じられないでしょうか。

国からの支援は主にハード面への支援が多く、焼却炉等の施設であれば大きな補助額となっています。

施設を作ることは計画、設計、施工という手続きを踏めば設置することはできるが、住民の行動変容を起こす部分は、丁寧な説明により住民の意識を変え、時間をかけて周知・徹底していかなければならず、大崎町では、この間どこからも財政的支援がないまま進め、継続してきました。

脱炭素の波を加速化させるためにソフト面での財政支援をインセンティブとし二酸化炭素排出抑制の取り組みや二酸化炭素吸収増進の取り組みをした自治体に財政的な支援をお願いします。

またその取り組みを他の自治体や世界の地域にスケールすることへの支援も併せてお願いします。

焼却前提の
ごみ処理

住民の行動変容

分別・リサイクル

焼却に頼らない
廃棄物処理システム

持続可能な世界標準のまち
大崎に向けて

脱炭素へ向けた取り組み

【これまでの取り組み】

★地方公共団体カーボン・マネジメント強化事業

・役場庁舎及び大崎町内の全小中学校の照明設備をLED化及び高効率の空調設備の導入

★地域の多様な課題に応える脱炭素型地域づくりモデル形成事業

・地域の未利用リソース及びＦＩＴ切れ電力を活用する地域総合環境エネルギーサービス事業体設置による炭素循環事業の事業化可能性調査

・メタン発酵によるバイオガスの抽出と液肥の農地利用

★リサイクル率日本一の大崎町と、その核である「そおリサイクルセンター」が連携した地域循環の取り組み事例

・大崎町の温泉施設にバイオマスボイラーを設置し、それにより創出したクレジットを活用し、そおリサイクルセンターの事業活動（社員の通勤を含む）に伴い発生するCO2を全量オフセット

【これからの夢】

畜産業

地域の社会課題でもある畜産糞尿対策

バイオガス

メタン発酵等によるバイオガスの生成

水素基地

バイオガスから水素等のエネルギー抽出

地域内でのエネルギーの循環

大崎町からインドネシアへ

（大崎システムによる国際協力）

インドネシア国デポック市における住民参加型一般廃棄物処理技術開発普及事業

草の根技術協力事業（地域提案型）
平成２４年度～２６年度

インドネシア国デポック市の要請を受け、JICA事業を活用し埋立処分場の延命化（減量化）を目的に国際協力を実施しました。人口200万人のデポック市では、生ごみの堆肥化技術の習得により良質の完熟堆肥ができています。インドネシア国特有の「ごみ銀行」というシステムを推進しプラスチック等の有価物の分別も進んでいます。

バリ州デンパサール市における資源循環型まちづくり技術支援事業

草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）
平成２７年度～２８年度）

デポック市同様にインドネシア国バリ州（人口400万人）からも要請があり、バリ州の「クリーン・グリーン政策」を支援するため、ごみの減量化と完熟堆肥を活用した有機農業の推進に取組みました。事業終了後バリ州から継続支援の要請があり、今後も支援する予定でJICA事業の採択を受けております。

インドネシア国住民参加型の多品目分別、減量による非焼却型一般廃棄物処理システム普及、実証事業

普及・実証・ビジネス化事業
（中小企業支援型）ジャカルタ州

インドネシア国の首都ジャカルタ特別州は人口1000万人を超える大都市であるが、経済発展と人口増加に伴い埋立処分場の残余年数が逼迫しており、州知事の要請を受けJICA事業を活用し、そおリサイクルセンターと同じ機能を持つジャカルタリサイクルセンターを稼働させるために支援しています。

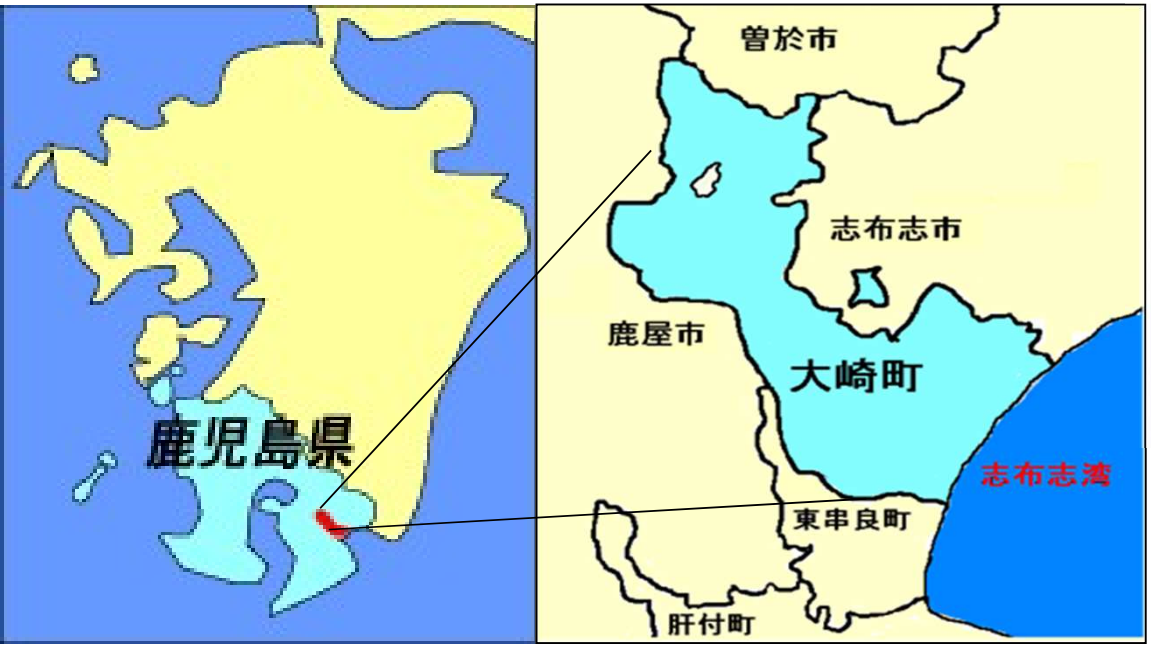
大崎町の概要

人　口　12,744人　世帯数　6,703世帯

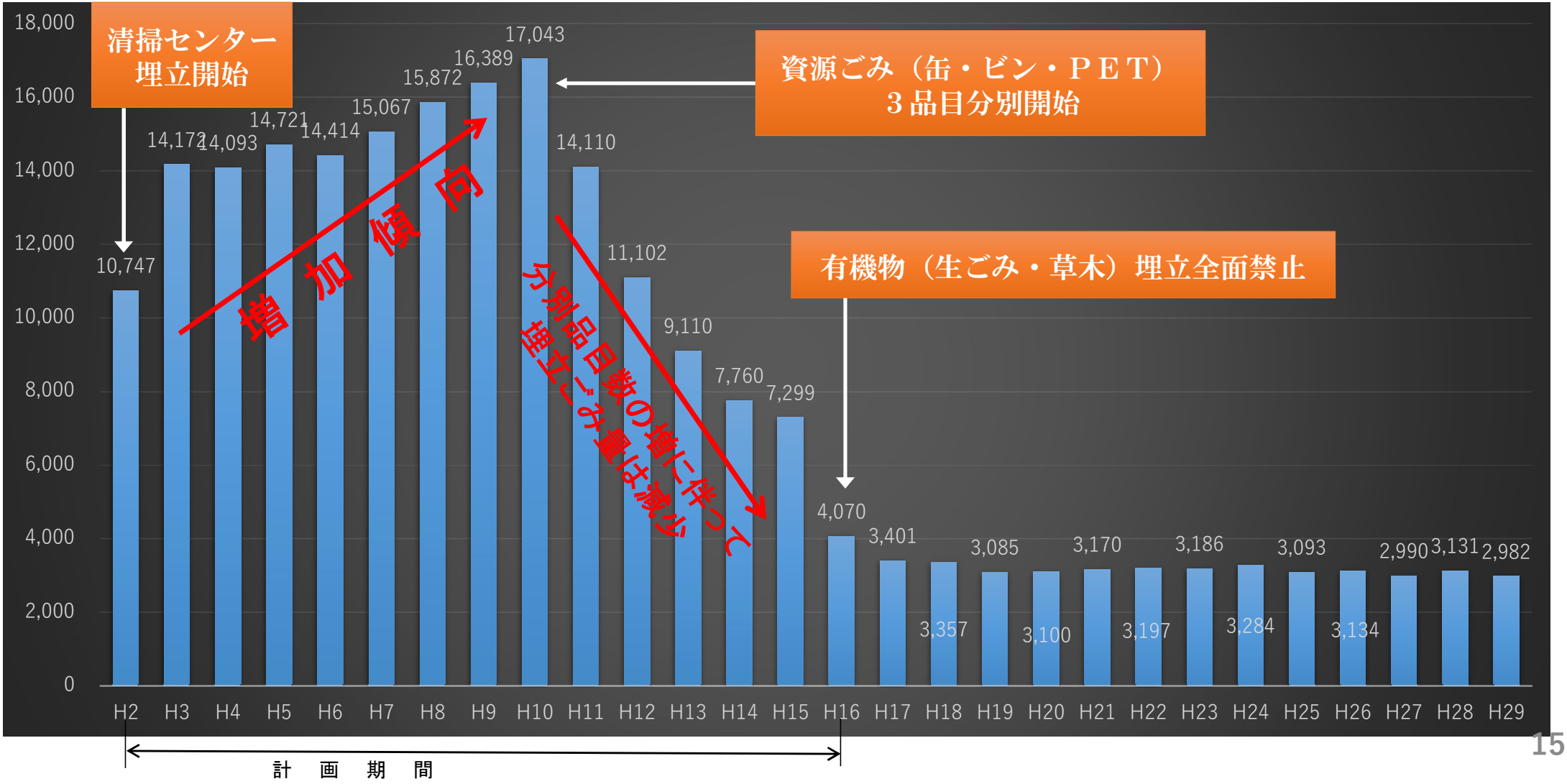
（令和3年3月1日現在）

面　積　100.67㎢　農業が主幹産業

ふるさと納税日本一（平成27年度 町村部）



清掃センターへの埋立処分量（ｔ）大崎町　＋　志布志市



家庭ごみの正しい分け方と正しい出し方

詳しくは、ごみ分別の手引きを見てね!

時間等を確認して空欄に記入して下さい! 収集場は自治会で管理されています。

平成25年度 改訂版
見やすい場所に貼りましょう!

大崎町役場 ℡476－1111
そおリサイクルセンター ℡471－6050
清掃センター ℡475－2328

決められた時間までに指定袋で、名前を書き、決められたものを、町内の決められた収集場に出しましょう。大崎町・大崎町衛生自治会

資源ごみの日（祝日も収集） 毎月1回第[ ]回目の木曜日・収集時間は[～]に指定収集場へ

分別の区分	出し方	分別の種類とポイント
①空き缶「スチール缶・アルミ缶」缶はつぶさないで一緒の袋に入れます（中身の残らないよう使いきり、軽く水洗いする）	指定袋	○ジュース、ビール缶 ○缶づめ、菓子缶 ○のり缶、茶缶、清涼飲料水缶（缶づめ・菓子缶のフタも含む） ○食用油缶、その他の食用缶、粉ミルク缶、ペンキの空き缶 ○ペットフード缶、水ようかんの缶・オイル缶（4ℓ以下）
②生きビン リターナブルビン（ビンのラベルはそのままで、フタは必ず外す／中身の残らないよう使いきり、軽く水洗いする）	金属製のフタは雑金属のコンテナへ、プラ製のフタはプラスチック類へ	○一升ビン類（茶色・緑色が限定）酒、焼酎、醤油、酢など ○5合ビン（焼酎用に限ります。）、ラベル付きが生きビンです。 ○ビール（大・中・小）
③茶色ビン ④無色透明ビン ⑤その他のビン（ビンのラベルはそのままで、フタは必ず外す／中身の残らないよう使いきり、軽く水洗いする） 見分け方 口の色で	金属製のフタは雑金属のコンテナへ、プラ製のフタはプラスチック類へ	○栄養ドリンクビン、清涼飲料水ビン、食用油ビン、化粧品ビン ○甘味料ビン（コーヒー、クリープ、調味料） ○少し割れた生きビン（一升ビン含む）はその他ビンで ○漬物用ビン、菓子ビン、コーヒービン、のりビン、ジャムビン、はちみつビン、調味料ビン ○ウイスキー、ワインビン（金具を外す）、清酒 ○めんつゆビン、酢の物ビン、まぎらわしいビン ※色はビンの口の部分で見分ける。 ※耐熱ガラスビン（容器）以外のコップ、花びんなどは一般ごみ ※クリームビンは最後をふきとる 混ぜないで 花ビン・コップ
⑥ペットボトル つぶさないで指定袋で	指定袋	○飲料用、酒類、醤油類のペットボトルだけが対象です。 ○上記の材料表示マークがついているペットボトル ○フタ、ラベルは外して⑲で分別。
⑦ダンボール 新聞用紙類は、別にして出す（雨天の場合は収集場で紙が濡れないようにして出します） 断面がこの様になっているもの	紙ひもで十字に縛って出します	○断面にストロー状の空洞がある紙です。 ○付着している金具、ビニール、ガムテープ類は必ず外す。 ※紙箱を混ぜないで下さい。
⑧新聞紙・チラシ	紙ひもで十字に縛って出します	○新聞紙とチラシを一緒に出します。（名刺サイズ以上） ※パンフレット類は違います。
⑨雑誌・雑古紙	紙ひもで十字に縛って出します	○書籍、マンガ本、週刊誌、教科書、参考書 ○製本された電話帳、カタログ、日誌、ノートなど ○カタログ、パンフレット、封筒、はがき、広報誌、カレンダー等 ○混合素材で無い名刺サイズ以上（総面積が対象）の紙。
⑩コピー用紙 白色紙・再生紙・ザラ紙等		○少量の場合は雑古紙で出します。（紙以外ははずす）
⑪シュレッダー紙 コピー紙をシュレッダーにかけた紙	指定袋	○シュレッダー紙の規格は原則巾4mm以上、長さ20cm以上とします。 ※規格外のシュレッダー紙は別に分別して資源ごみで出します。
⑫紙パック	紙ひもで十字に縛って出します	○牛乳パック、ジュースパックです。（大きさは問わない） ○切り開いて洗って出して下さい。 ※裏アルミパックは、その他の紙製容器・包装紙⑭で出します。
⑬紙箱・包装紙（紙にリサイクル）	紙ひもで十字に縛って出します	○ティッシュ箱、菓子箱、包装紙、紙袋など ※付着しているビニール類は必ず外す。 ※布張り、金具つきの混合素材は出せません。 ※まぎらわしいもの・混合素材などの紙箱・包装紙・袋等はその他の紙製容器・包装紙⑭で出します。
⑭その他の紙製容器・包装紙・袋（固形燃料にリサイクル） 紙類①～⑬以外のものが対象	指定袋	○ビニールコート紙、複合素材の箱・包装紙・アルミ箔・銀紙・袋 ○裏アルミはくのジュースパック・酒パックの紙類、ロール芯 ○紙コップ・カップ、紙カップ麺容器、陶状の紙容器、洗剤の箱 ○紙リサイクルに向かないすべての紙箱・包装紙・袋などたばこ外箱 ※ジュース箱等は開封し食品残渣を軽く水洗いします。

分別の区分	出し方	分別の種類とポイント
⑮蛍光灯類	コンテナ回収	○蛍光灯（丸型・棒型）、水銀灯、水銀式体温計、水銀式温度計 ○グロー球・白熱球（われた電球は一般ごみです）
⑯乾電池等	コンテナ回収	○乾電池（アルカリ・マンガン）、充電池 ※鉛バッテリーは回収できません。
⑰古着・布類	紙ひもで縛る	○古着・布類（Tシャツ、タオル、カーテン、衣類、セーター、ジーパン、ジャージ） ○ハンカチ以上の大きさで、洗濯をしたキレイな衣類など ※注意（下着類、くつ下、ストッキング、雨具、衣類以外のわた入り製品）はダメです。
⑱廃食油 家庭用保管容器	専用容器に移す	○食用油を回収します。（不純物は取り除く）菜種油、オリーブ油、サラダ油などの食用油です。 ※工業用廃油（エンジンオイルなど）は絶対ダメです。
⑲プラスチック類 大きな金属は外し雑金属に出します 分別表示マーク(プラ)がついている全てのプラスチック類 ボトルラップ等のラベル、シールは外さないで良い ○家庭用のプラスチック類です ○シャンプーボトルのポンプも外して一緒に出す	指定袋	○プラスチック容器、弁当箱、ラップ類、ビニール袋、プランター ○レジ袋、菓子袋、トレイ、ネット袋（食品残渣は軽く水洗） ○発泡スチロール（指定袋に入る大きさにする。） ○ボトル類（シャンプー、洗剤、入浴剤、食用油等）・ポンプも含む ○チューブ（マヨネーズ等）、玉子パック・豆腐のパック ○キャップ、ラベル（PETボトル用）・塗剤の容器 ○ビニールシート（切断せずに汚れを落とし折りたたんでヒモで結び資源の袋には入れずに出します） ○プラスチック食器類（皿、スプーン、フォーク、ストロー） ○CDケース、テープケース、ハンガー、おもちゃ、くし、バケツ ※PPバンド、ビニールひも、ホースは切断しなくてよい。 ※袋に入らない大きなプラ容器はひもで縛って出します。 ※汚れをふき取るか水洗いして乾かし、キレイにして出します。
⑳スプレー缶 カセットボンベ ○キャップ、ノズルは必ず外します	コンテナ回収	○スプレー缶、カセットボンベは使い切って穴を上下各2ヶ所以上あけて出して下さい。（風通しの良い所で注意して） ○化粧品・殺虫剤等のスプレー缶、カセットボンベ
㉑金属製フタ鍋、やかん等 ○コンテナに入る大きさの雑金属を回収	コンテナ回収	○金属製食器類、鍋・やかん・フライパン・スプーン・フォーク ○くぎ・針金・包丁・はさみ・カッター・キャップ（ビール瓶・栄養剤等） ○コンテナに入らない物は粗大ごみです
㉒割りばし・串等（竹製・木製） ○コンテナに入る大きさの竹製、木製を回収	コンテナ回収	○割りばし串（竹・木製）・蒲鉾の板・アイス棒・竹ひご・木箱 ○食品残渣を取り除き、洗って収集場へ ※注意 塗りばしは一般ごみ㉖、プラスチック製はプラスチック類⑲、金属製は金属製フタ鍋、やかん等㉑。
㉓陶磁器類（原料が土の器類）	コンテナ回収	○割れた物も対象です。 ○陶磁器類以外の物は外します。
㉔小型家電 コンセント又は電池を電源とする電子電気機器で、資源回収用コンテナに入るサイズのもの	コンテナ回収	○コンテナに入らない物は粗大ごみです。戸別回収をご利用ください。 ○使用済小型家電からは乾電池、蛍光灯、電球等は取り除いてください。 ○ビデオテープ、CD、MD、カセット、DVD、ゲームソフト等は取り除いて、排出してください。ビデオテープ・MD・カセット・ゲームソフトは一般ごみ㉖、CD・DVDはプラスチック類⑲です。 ○携帯電話やデジタルカメラなどの個人情報（電話帳、保存データなど）は消去してください。

㉕生ごみ「指定収集場」

毎週 ・ ・ 曜日（祝日も収集）

残菜・残飯・野菜くず・料理ごみ・魚のあら・肉類・果物・お菓子・貝殻・切り花・剪定くず・草木・その他食料品等・茶がら・卵から・食肉の骨

出し方（生ごみ分別の指定自治会）
○十分な水切りを行う。ビニール類の異物混入は絶対にダメです。
○草木・剪定くず1m以下の長さでひもで結んで出す。
○落ち葉は資源ごみ袋（赤）で出します。
※大量の草木は町の許可を得て、そおリサイクルセンターへ直接搬入します。

㉖一般ごみ（資源ごみ・生ごみ以外）

毎週 ・ ・ 曜日（祝日も収集）

ガラスコップ、鏡、花瓶、割れたガラス類、ライター、ゴム製品、保冷剤、乾燥剤、ぬいぐるみ、タバコの灰、タバコ、フロの灰、はぎれ、雑巾、ビニールテープ、ガムテープ類、ビデオ・カセットテープ、履物・傘、皮・合皮製品、写真、チリ紙、紙おむつ、下着類、座布団、くつ下・ネクタイ、雨具（カッパ）、衣類以外のわた入り製品、他家庭内で使用後に発生したごみ（資源ごみ以外）

出し方（資源ごみ以外）
○指定袋に入るごみは、一般ごみです。
○紙おむつの汚物はトイレに流してから

㉗粗大ごみ

指定袋及びコンテナに入らないものが対象

家具類
下駄箱・タンス・いす類・座椅子・こたつ・本棚・机・ワゴン・ソファー・食器棚など

寝具・敷物
布団・ベッド・マットレス・カーペット・ジュータン・毛布など
必ず荷づくりひもで縛ってだす。

その他
自転車・オルガン・ガスレンジ・ミシン・トタン板・竿・物干し台・石油ストーブ・石油ファンヒーター・米びつ・鏡台・乳母車など

戸別回収（予約制）
そおリサイクルセンター
電話番号 477-2455
8時～17時まで
土曜・日曜は休みです。
代表例以外の家庭用粗大ごみについては、問い合せて下さい

自己搬入
清掃センター
電話番号 475-2328
8時30分～16時まで
日曜・祝日は休みです。
ごみの多い場合と、重量が重い場合は直接持ち込んで下さい

混ぜればごみ、分ければ資源!

事業系ごみ(一般廃棄物)の分別も家庭系と同じです。
出し方は収集運搬業者に依頼します。

ごみ排出者の義務とルール
●大崎町衛生自治会に入会します。
●会費は各収集場に納付されます。
●町衛生自治会会費は年五百円です。
●登録した収集場以外には出せません。
●登録は収集場の責任者に依頼します。
●指定袋には必ず名前を書いて出します。

町が引き取らないごみ ○処理困難なごみと産業廃棄物など

電化製品
テレビ・洗濯機・冷蔵庫・エアコン・電気温水器・自動販売機・業務用大型電化製品
○家電4品目（テレビ・洗濯機・衣類乾燥機・冷蔵庫・冷凍庫・エアコン）は販売店に引き取り依頼 ※有料にてリサイクルセンター回収も可

産業廃棄物・事業系廃棄物
建物の改築・解体に伴う廃材ごみなど農業用廃ビニール・製造事業所のごみ
農業用資材（廃棄物処理業者に依頼）

医療廃棄物
医薬品・劇薬・注射針・医療機器等

その他
タイヤ・バイク・農機具・廃油・塗料・農薬・火薬・コンクリート片・バッテリー・ガスボンベ・消火器・ピアノ・瓦など
○購入先か専門業者に依頼して下さい

行政の役割

- システム（法律）の整備
- 収集したゴミの出口（最終処分先）確保
- ゴミ出し日、時間、場所、収集ルートの決定
- 分別品目を決める
- 地域リーダーを決めて指導
- 環境学習会の開催

分別を開始する時、大崎町は150の地域で約450回の説明を行いました。

今でも年1回、150の地域リーダーへの研修会を行っています。

住民の役割

まず**家庭・事業所**で　　分別したゴミを出す

きれいに分別する　　**ステーションで種類ごとに出す**

企業の役割

ゴミの検査

行政の委託による
ゴミの回収

検査後は商品として出荷する

リサイクルで、未来を照らす。
11年連続全国一位
「SDGs」支援第一弾 《大崎町×鹿児島相互信用金庫》限定企画
リサイクル未来創生奨学ローン
ご融資金利
年1.50%
ご融資金額
50万円～500万円まで
ご融資期間
5年以内
0120-197-005
そうしん

《大崎町×鹿児島相互信用金庫》限定企画
リサイクル未来創生奨学ローン
「リサイクル未来創生奨学ローン」と一般的な「奨学金」のポイント
リサイクル未来創生奨学ローン
日本学生支援機構
大崎町の行う「リサイクル未来創生奨学金制度」について
◆大崎支店 曽於郡大崎町仮宿字長池1130番地20 TEL 099-476-1101
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
そうしん

インドネシアの埋立処分場

インドネシア国デポック市における住民参加型一般廃棄物処理技術開発普及事業
草の根技術協力事業（地域提案型）　　平成２４年度～２６年度

事業開始の頃の市民向け現地モデル地区説明会の様子。
大崎町からの派遣員が説明を行っている。
必ずデポック市職員の同席を求め、最終的には自らが普及指導員として活動するよう指導。

デポック市廃棄物担当職員への研修会

指導前の堆肥化施設。
廃棄物が混載状態で搬入されていた。

指導後の堆肥化施設。
分別収集が開始され衛生的にも改善されている。

バリ州デンパサール市における資源循環型まちづくり技術支援事業

草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）　平成２７年度～２８年度）

バリ州での指導
埋立処分場の延命化という目的や、家庭での分別、中間処理施設での検査、堆肥化技術の習得の重要性、有機堆肥を使用した安全安心な作物作りを指導した。

大崎町での指導
実際に大崎町で行われている分別収集システムや農業生産現場を視察し、分別収集システム学習や生ゴミ・草木の堆肥化技術の習得を図った。

016年（平成28年）9月9日　金曜日　南日本新聞

みなみネット

大崎、バリと交流声明

ごみ減量や農業指導縁　姉妹盟約も視野

声明書を手にする大崎町の東條政春副町長（左）とインドネシア・バリ州のゲデェ・スアルジャナ環境局長（中央）＝インドネシア・デンパサール（大崎町提供）

大崎町は、ごみ減量化や有機農業の指導を通じて交流のあるインドネシア・バリ州と、相互の友好、協力関係を深めるための「相互支援声明書」に署名した。今後、環境姉妹都市盟約の締結を視野に交流を進めていく方針だ。

町は国際協力機構（JICA）の草の根技術協力事業で2015年度から支援を始め、現地での技術指導や、研修の受け入れを続けている。

声明書には東靖弘町長とマデ・マンク・パスティカ州知事が署名。環境管理の取り組みを基礎に、両自治体のより幅広い協力関係を発展させる、との内容を盛り込んだ。具体的には、青少年の相互交流といった教育分野や、農業分野での交流が想定されるという。

8月下旬、東條政春副町長らが技術指導で現地を訪れた際、文書を交わした。

人口400万人を超え、観光地を抱えるバリ州は近年、環境と有機農業に力を入れており、大崎町に技術支援の要請があった。

東條副町長は「先方の熱意を感じた。今回の締結はありがたいこと。役に立てることがあれば誠心誠意、協力していきたい」と話した。（児美川勝）

南日本新聞
平成28年9月9日 掲載

インドネシア国住民参加型の多品目分別、減量による非焼却型一般廃棄物処理システム普及、実証事業

普及・実証・ビジネス化事業（中小企業支援型）

2018年(平成30年)9月21日(金)　The Daily NNA インドネシア版【Indonesia Edition】 第05311号[1]
The Daily NNA アジア経済情報紙 インドネシア版 https://www.nna.jp/
PT. NNA INDONESIA　Setiabudi Atrium Building 2F, Suite 208, Jl. H.R. Rasuna Said, Kav.62 Kuningan Jakarta 12920 Tel：021-520-1423 Fax：021-520-1424 E-mail：sales_id@nna.asia
MCI(P) 034/03/2018

首都にごみリサイクル施設
大崎町、州政府と協力し事業化へ

11年連続でリサイクル率日本一を誇る鹿児島県大崎町と、同町の委託で生ごみの堆肥化や資源ごみの中間処理を行う民間企業「そおリサイクルセンター」は、インドネシアのジャカルタ特別州政府に協力し、首都に資源ごみ処理施設を設置する計画を進めている。一行は事業化に向け、17～21日の5日間ジャカルタを訪問、アニス州知事との会談や設備機材の搬入予定地の視察などを行った。稼働すれば、プラスチックやペットボトル、缶、紙、金属など資源ごみの分別・リサイクルが可能になる。【高越咲希】

ジャカルタ特別州の環境局職員らに計画を説明する大崎町役場の松元課長補佐（右）＝19日、ジャカルタ（NNA撮影）

リサイクルの設備機材は、既存の中間集積所へ搬入する計画で、一行は18日、南ジャカルタのプサングラハン地区にある集積所を視察に訪れた。大崎町役場住民環境課の松元昭二課長補佐は「プサングラハン地区を対象に、最大で20万人規模の資源ごみを処理できる施設の構築から始める」と説明。「資源ごみは一般的に廃棄物全体の約39％を占める。これから数年をかけて地域の廃棄物の埋め立て量を3割減らすことを目指したい」と話した。来年中に稼働できるよう、各関係者らと協議を進める。

そおリサイクルセンターの担当者によると、◇プラスチック圧縮梱包（こんぽう）機◇ペットボトル破砕機◇紙、金属プレス機◇発泡スチロール減容機◇トラックスケール（車重計）――といった設備機材の導入を予定している。事業は国際協力機構（ＪＩＣＡ）の普及・実証事業として行われ、総事業費は3年間で1億円。

大崎町とそおリサイクルセンターはこのほか、資源ごみの分別や生ごみの堆肥化などを推進するため、住民や収集業者に対する指導や、教育機関への働き掛けなども行っていく。大崎町は、こうした啓もう活動をこれまで西ジャワ州デポックやバリ州で実施した経験がある。同町はパサングラハン地区に続いてジャカルタの他の地域でも同様な支援を継続していきたい考え。現在大崎町で取り組んでいる廃食油からバイオディーゼル燃料を精製する技術もインドネシアの自治体に紹介していく予定だ。

埋め立て地の延命でコスト削減

松元課長補佐は中間処理の必要性について、州政府に対し環境保護や長期的にはコスト削減につながることを訴えた。ジャカルタ首都圏からは、1日当たり7,000トンのごみが西ジャワ州ブカシ市のバンタルグバン廃棄物処理場に運ばれている。処理場の総面積は110ヘクタールで、このうち80ヘクタールがごみの埋め立てに利用されており、5～10年後には容量の限界を超えるとみられている。松元氏は「これを埋め立て地や焼却所の新設で対処しようと…反対運動も起こりか…ば、いまある埋め立…した。

大崎町は菜種油を特産品として開発。2001年から「菜の花エコプロジェクト」を始め、町内の畑に菜の花を植えている。油は学校給食に、油かすは堆肥や飼料に、廃油は石けんやディーゼル燃料の生産に使用している（大崎町ホームページより）

大崎町でも1990年代、既存の埋め立て地が2016年にはいっぱいになると予想されていた。容器包装リサイクル法が施行されたこともあり、町では1998年から分別・リサイクルの取り組みを開始した。それまで増え続けていたごみの量が99年を境に減少し始め、埋め立て地周辺の衛生環境も改善。容量限界を迎えるどころか、この先40～50年の使用が可能となった。

[2]The Daily NNA インドネシア版【Indonesia Edition】 第05311号　2018年(平成30年)9月21日(金)

バリでは第2フェーズへ

大崎町とそおリサイクルセンターは、2015年からはバリ州でもごみの減量化に向けた官民の人材育成事業を開始した。生ごみ堆肥化のノウハウ指導に加え、観光と農業を融合させたオーガニック農業の推進も行った。現在はバリ州からの要望で第2フェーズの取り組みに向けて準備中という。

大崎町は現在27品目を資源ごみとして分別しており、廃棄物全体の8割をリサイクル、2割を埋め立て処理している。環境省が今年発表した16年度一般廃棄物処理実態調査結果では、リサイクル率83.4％を記録。全国平均の20.3％を大幅に上回り、11年連続で首位の座を維持している。年間ごみ処理事業経費も住民1人当たり7,550円と、全国平均1万5,326円の半分以下に抑えている。

Japan offers cooperation on new recycling center

The Jakarta Post
JAKARTA

Jakarta governor meets with representatives from Osaki, Japan

Representatives pitch cooperation, assistance on new recycling plant

Five representatives from the Osaki town administration in Japan have pitched the idea of possible cooperation with the Jakarta administration in building and running a recycling center.

"We are here to inform, train and give an example as to how our waste-management system works," project manager Tokurei Katsuya told *The Jakarta Post* on Monday, after the closed-door meeting with Jakarta Governor Anies Baswedan and other city officials.

Osaki town in Kagoshima prefecture boasts an 85 percent recycling rate, the highest in Japan. In comparison, Jakarta's recycling rate is around 7 percent.

Jakarta still relies largely on Bantar Gebang landfill in Bekasi, … because it relies on neighborhood units, similar to Indonesia's community units (RW) and neighborhood units (RT), to sort trash into 27 categories — such as aluminum, plastic, paper and food waste — before it is handed over to waste management authorities.

To that end, the Osaki city administration is also ready to provide material and technical support to build the Jakarta recycling center, and train waste-management authorities to familiarize communities with this new system.

If approved, Tokurei and his team would oversee the opera- … ki system also adopted a holistic approach to waste management, which still uses incinerators and landfills in proportion to the amount of nonrecyclable trash.

"In my experience, the trickiest part of waste management is deciding exactly how much trash should be incinerated, thrown in a landfill or recycled. It is important to not let any recyclable material end up in the incinerator or landfill," said Tokurei.

He added that, because of their reliance on community participation and reduced incinerator and landfill usage, their system was much more low-cost compared to other Japanese cities.

Jakarta Environment Agency head Isnawa Adji, who attended the closed-door meeting, expressed approval of the Osaki team's ideas.

"They can help the environment agency tackle waste in the city because they are experienced … have to establish a memorandum of understanding with the agency to implement the plan. Shoul[d] both the governor and agency ap[prove], the governor will sign a con[tract], and they can begin construc[tion] of the recycling center.

Trisakti University urbani[st] Nirwono Joga concurred wit[h] the idea of a community-lo[cal] waste-management system. H[e] stressed that it was critical f[or] communities, from the smal[l]est RT and RW units, to reduc[e] waste production and to so[rt] waste before handing it over [to] waste-management authorities.

"And authorities must suppo[rt] communities by enforcing th[e] law on, for example, littering, r[e]ducing plastic consumption an[d] raising awareness about prop[er] waste disposal," he told the *Post*.

Indonesia has made sever[al] attempts to crack down on th[e] waste problem with little succe[ss]. In 2008, for example, the Env… cycle but, unfortunately, it did n[ot] catch on. (nor)

ジャカルタ特別州での事業実施に向けた州知事との会議について地元メディアの報道記事

KORAN TEMPO

METRO

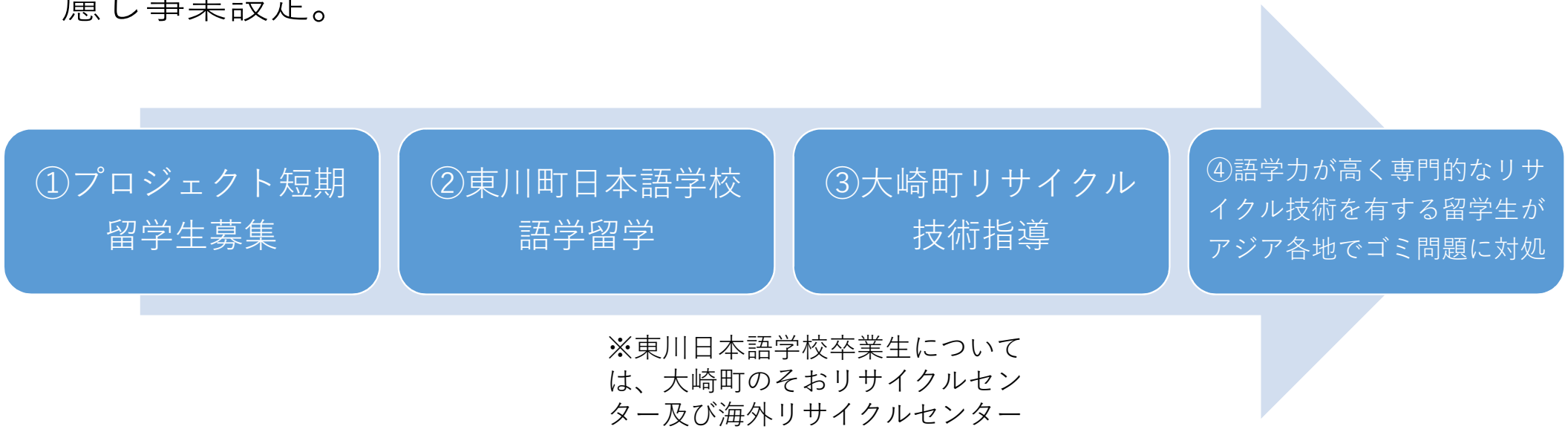
TPST Pesanggrahan Jadi Percontohan Pusat Pengelolaan Sampah Jakarta

EDISI, 19 SEPTEMBER 2018
REPORTER: TEMPO
EDITOR: TEMPO

東川スタイル×大崎システム
日本と世界の未来を育む
リサイクル留学生プロジェクト

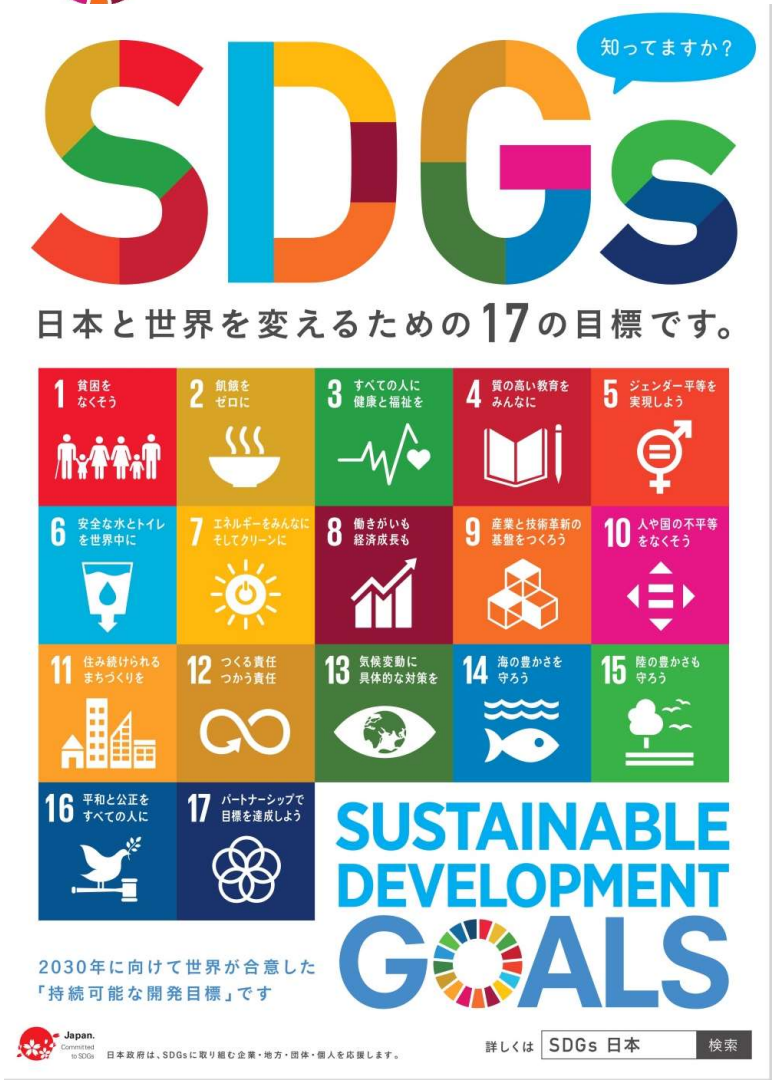
プロジェクト概要

東川大崎モデル（仮）を達成する持続可能なスキームを構築。その財源を確保するためにふるさと納税（ガバメントクラウドファンディング）を活用。インパクトあるコンセプトを設定し、寄附を募る（共通ファンド）。今後展開を考慮し事業設定。



※東川日本語学校卒業生については、大崎町のそおリサイクルセンター及び海外リサイクルセンターでの採用（語学力の高い人材に限る）

大崎町リサイクルをSDGsの視点から再定義



SDG s とは：

SDGs（エスディージーズ：Sustainable Development Goals-持続可能な開発目標）とは、世界が抱える問題を解決し、**持続可能な社会をつくるために世界各国が合意した17の目標**と169のターゲットです。
2015年9月、SDGsの前身であるMDGs（ミレニアム開発目標）を継承し、国連で採択されました。貧困問題をはじめ、気候変動や生物多様性、エネルギーなど、持続可能な社会をつくるために世界が一致して取り組むべきビジョンや課題が網羅されています。

SDGsのポイント：

•先進国も、途上国も。すべての国や地域の人たちが取り組むための目標です。
先進国の人たちの暮らしが、世界の貧困や環境の問題にも大きな影響を与えています。すべての国の政府に、SDGs達成に向けた政策をつくり、それを国家計画に反映していくことが求められています。

•「誰も置き去りにしない（Leave no one left behind）」
マイノリティや社会的弱者、子どもからお年寄りまで、すべての人たちが大切にされる、包摂的（インクルーシブ）な社会をめざします。

•それぞれの問題は、相互に関連しています。
異常気象が一次産業に大きな影響を与え、食料不足を引き起こす。貧しさのために十分な教育を受けることができず、貧困の輪から抜け出せない……。
SDGsに掲げられたそれぞれの問題は、互いに深く関連しています。

•つながりあって、アクションを
問題の解決のためには、政府ばかりではなく、企業やNGO・NPO、農業者や女性など、いろいろな背景を持った人たちがつながりあって、それぞれの良さをいかしながら、クリエイティブに取り組むことが大切です。
2030年、世界はどのようになっているでしょう。SDGsが掲げたビジョンが実現するか否かは、私たち一人ひとりの思いとアクションにかかっているのです。